

主な検査項目の説明

略語	項目名	どんなものか？	何がわかるのか？
生 化 学			
AST(GOT)	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ	肝細胞、筋細胞、赤血球に存在する酵素で、これらの細胞が破壊されると血中に逸脱する	肝臓病や心臓病の有力な指標
ALT(GPT)	アラニンアミノトランスフェラーゼ	主として肝細胞に存在する酵素で、肝細胞が破壊されると血中に逸脱する	肝臓や胆道の病気の有力な指標
ALP	アルカリホスファターゼ	肝、胆管系、骨、甲状腺、胎盤、小腸、腎などに分布する酵素	閉塞性黄疸、肝内胆汁うっ滞の指標
γ-GTP	γグルタミルトランスペプチダーゼ	主として肝由来の酵素	肝臓や胆道の病気のスクリーニング検査、特にアルコール性肝障害や常習飲酒者で上昇
LAP	ロイシンアミノペプチダーゼ	肝、腎、小腸、膵などに分布する酵素	肝・胆道などの閉塞状態がわかる、ウイルス感染症、白血病、悪性リンパ腫などで上昇
LDH	乳酸脱水素酵素	体内のすべての臓器に存在する酵素	細胞の変性や壊死を反映、スクリーニングとして重要
TP	総蛋白	血清中には多数の蛋白成分が存在し、主要なものだけでも100を超える	栄養状態や肝臓・腎臓機能の基本検査
ALB	アルブミン	肝臓で合成される蛋白質、総蛋白の50～70%を占める	栄養状態や肝臓・腎臓機能の指標
T-BIL	総ビリルビン	胆汁色素の一つ、赤血球が肝臓、脾臓、骨髄などで破壊されビリルビンに変化する、総ビリルビンは直接ビリルビンと間接ビリルビンの和	直接型優位の増加は肝胆道系疾患、閉塞性黄疸など、間接型優位の増加は溶血性黄疸、新生児黄疸など
D-BIL	直接ビリルビン		
T-CHO	総コレステロール	脂質の一つ、1/5は食事由来、残りは主に肝臓で産生される	動脈硬化や心臓病などの循環器疾患の診断や経過の判定に欠かせない検査
TG	トリグリセリド(中性脂肪)	脂質の一つ、皮下脂肪の大部分を占める	動脈硬化性疾患の指標、食事により上昇することもある
HDL-C	HDLコレステロール	余分なコレステロールを取り除き、動脈硬化を防ぐ(善玉コレステロール)	動脈硬化性疾患の危険因子の有無を調べる
LDL-C	LDLコレステロール	コレステロールを運搬、供給する(悪玉コレステロール)	動脈硬化性疾患の指標
CK	クレアチンキナーゼ	心筋、骨格筋、平滑筋、脳などに高濃度に存在し、これらの組織が傷害されると血中に逸脱する	心筋や骨格筋などの組織・細胞の傷害を反映する
ChE	コリンエステラーゼ	肝細胞で産生される蛋白	栄養状態や肝臓の機能を反映し、肝障害の重症度の指標
Na	ナトリウム	血液中に含まれる電解質の一つ、からだの水分を調節する働きをする	腎機能やホルモンの異常、浮腫、脱水、下痢、嘔吐などで増減します、大きな濃度変化は生命維持に危険を及ぼす
K	カリウム	血液中に含まれる電解質の一つ、筋肉や神経に関係ある働きをする	
Cl	クロール(塩素)	血液中に含まれる電解質の一つ、体内に酸素を供給する働きをする	

略語	項目名	どんなものか？	何がわかるのか？
Ca	カルシウム	血液に含まれる電解質の一つ、骨や歯の形成、神経刺激の伝達、血液の凝固に関係する働きをする	生命維持調節に影響が強く、各種内分泌や骨代謝異常をきたす疾患で測定する
BUN	尿素窒素	肝臓での尿素産生の低下で低くなり、また腎臓の排泄機能の低下で高くなる	腎機能の指標、腎機能低下で上昇
Cre	クレアチニン	筋肉中のクレアチンの最終代謝産物、腎糸球体でろ過され、尿細管での再吸収や分泌が少ない	腎機能の指標、腎機能障害の程度に応じて上昇
UA	尿酸	プリン体の最終代謝産物、血中の老廃物で尿中に排泄される	腎機能や細胞の障害の指標、痛風で上昇
AMY	アミラーゼ	主に膵臓と唾液腺由来の酵素	主に膵疾患のスクリーニング、膵炎、耳下腺炎などで上昇
CRP	C反応性蛋白	炎症マーカーの代表、炎症や組織の破壊で増える蛋白の一種	炎症症状や組織破壊の指標
GLU	グルコース(血糖)	血液中のブドウ糖、全身でエネルギーとして利用されやすい栄養素	糖尿病の最も重要な指標
HbA1C	ヘモグロビンAワンC	赤血球中のヘモグロビン(血色素)にブドウ糖が非酵素的に結合したものの	過去1～2か月の平均血糖値を反映
血液			
WBC	白血球	細菌などを貪食し、免疫情報を伝達し、さらに免疫能を発現して生体防御にかかわっている	細菌の感染や炎症があると増加する
RBC	赤血球	血液の主な細胞成分、酸素を肺から各組織に運ぶ働きを持っている	貧血の有無を知る目安となる
Hb	ヘモグロビン(血色素)	血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビンによるもの、赤血球の働きの中心となる	
Ht	ヘマトクリット	一定の血液量に対する赤血球の割合(容積)をパーセントで表したものの	
PLT	血小板	出血を止めるために重要な働きを持つ	極端に減少すると出血を起こしやすくなる

※ 検査成績は総合的に判断されます。食事や運動などに影響される項目もあり、一つの項目だけで判断されるものではありません。検査成績は身体症状や経過、その他の検査項目などを含めて、医師が総合的に判断します。